

第546回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和6年2月7日(水) 午前11:00より

2. 開催場所 長野放送本社会議室

3. 委員の出席 ○委員総数 8名
○出席委員数 8名
○出席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)

委員長 林 新一郎

副委員長 井口 弥寿彦

委員 浅井 隆彦

委員 加藤 恵美子

委員 笹本 正治

委員 武重 正史

委員 中山 潔

委員 南澤 光弥

○欠席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)

○放送事業者側出席者名

外山 衆司 (代表取締役社長)

船木 正也 (常務取締役 編成業務・放送番組審議会担当)

久保 善一 (取締役 報道制作・企画事業担当)

西條 彰浩 (報道制作局長)

早川 英治 (編成業務局長)

浅輪 清 (編成業務局次長 兼 考査部長
兼 放送番組審議会事務局長)

北澤 輝久 (編成業務局編成部長 兼 視聴者室長)

伊藤 晴彦 (報道制作局次長)

松山 航大 (報道制作局制作部)

4. 議題

(1) 番組審議

『 NBSフォーカス∞信州 信州の検索ワード2023 』

令和5年12月15日（金）19:00～19:57 放送

(2) 視聴者対応報告（令和6年1月分）

(3) その他

5. 議事概要

(1) 番組審議

- ・年末に相応しくて1年を振り返る楽しい番組だった。
- ・信州の魅力を発信できる良い番組だった。
- ・ネット検索ワードをピックアップして紹介するというのは、非常に客観性がある。
て結果に納得感がある。
- ・インターネット検索から注目されていたことにアプローチするということで一つ工夫があった。
- ・検索ワードというのは世の中の関心や興味、疑問、本音といったものが直接的にストレートに表れており、そこに軸足を置いた番組内容が新鮮に感じた。
- ・全国とか海外のネット民が母数なので県民が知らなかった新しい発見という意外性もあって、興味深く見る事が出来た。
- ・県民の方々が当たり前慣れ親しんだものでも、県外の人間にとってはおそらく特別の価値があるということがたくさんあると思っているので、今回の番組が県民の方々に気付いていただく良いきっかけになったのではないかな。
- ・もし検索ワードを信州とした場合に結果が違ってくるのか違ってこないのかというのをちょっと興味深く思った。
- ・メディアはSNS発信がバズる影響が大きいというのが今回の内容で伺えた。
- ・プチ鹿島さんがところどころで良いコメントを出し、理解を深めていただいているというのが印象的だった。
- ・丸山智己さんも武藤千春さんも表現のプロフェッショナルなので、松山アナのテ

ンポの良い進行とプチ鹿島さんの解説的なコメントにうまく絡んで番組全体をユニークで柔らかな内容に盛り立てていってくれたように感じた。

- 1年間で一番検索されたものがどれくらいあったのか、できたら客観性を見るという意味では具体的に数だけでも示していただけるとありがたい。
- 県外の人視線でなぜこういったことが注目されているのかということゲストの方が解説コメントをしていただけるとより興味が深まって良かった。
- 5つの部門ということで区切って説明していただいたところ等は工夫していた。
- 部門を設けてそれぞれに紹介するのは良いアイデアだったと思った。情報が整理されて視聴者の方には受け入れやすくなったのではないかと思った。
- ポスターの小学生のしっかりとした発言は番組の中では一番印象に残った。
- 松本パルコの閉店では思い出の場所が無くなるという寂しさだけでなく、その後の期待ということにも番組の中で言及されていたのは非常に良いと思った。
- 松本パルコの後利用についても取材をされていて、良い跡地にできたらいいなというメッセージもNBSさんからあったと感じられたので良かった。
- 松本パルコの閉店をもう少しきちんと掘り下げていただきたいと思った。社会の影響を受けながら町やお店が変わっていく時にどういうことをやって行ったらいいかということと言うと、地域文化論をやっていくべきではないか。
- 一番興味深かったのは架空の市だとか大学の名前だとかについてあえて番組内でピックアップして取り上げていたこと。
- グルメ部門では、どうしてこのお店が人気になったかその取材もしていて身近に感じられて見ることができた。
- グルメ部門ではロケで映すだけではなくて、ぜひスタジオでゲストの方が実際に食べて、そのシズル感を伝えるというのがないと非常に面白かった。
- いろんなジャンルに飛び過ぎていて番組がやや散らかっているかなという思いが

少し残った。

- ・私たちと年代も一緒の方々が2人も県の花を知らないというのでがっかりした。
- ・3人がそこにいる必然性がどういう選考だったのかなということも含めてよくわからなかった。
- ・今後のことを考えると半年ごとにやっていただいで十分面白いし、テーマだけでもきちんとやっていただいたら面白い。
- ・今回の番組はかなり実験的なチャレンジをした番組だったのではないかと受け止め、1年の振り返りもので取り組んでみたその意欲を前向きに評価したい。

(2) 視聴者対応報告（令和6年1月分）

資料に基づき、令和6年1月分の視聴者対応について、編成部より報告を行った。

(3) その他

配布資料

- ・第545回番組審議会（令和6年1月）議事録
- ・視聴者対応報告資料（令和6年1月分）
- ・モニターレポート
- ・BPO報告（NO. 259）

以 上